

## 縁～出会い～を大切に

武蔵野市立第六中学校  
校長 鈴木 斉

令和4年4月1日に、第14代校長として着任した、鈴木 斉（すずき ひとし）と申します。

4月からの勤務校について「武蔵野市立第六中学校です」と内示を受けた時、ある種の運命を感じました。実は、私の教員としてのスタートは、武蔵野市立第四中学校の特別支援学級（群咲学級）でした。その後、八王子の中学校に8年、世田谷区の中学校に教員として14年、副校長として7年の計21年間勤めた後の異動でしたので、「次の異動先も世田谷区内の中学校だろう」と考えていましたので、内示を受けた時の心境はまさに“驚き”の一言でした。しかし、思えば私の教員人生はすべて”縁“でつながっています。

私事で恐縮ですが、私の趣味の一つに“自然観察”があり、そのきっかけとなったのは「S先生」という、当時都内の中学校にお勤めの先生でした。その先生が勤めていた学校が実は、武蔵野市立第四中学校だったのです。実際には、S先生は3月31日にご退職になり、私が採用になったのは4月1日だったので、四中の中ではすれ違いだったのですが、離任式でご挨拶をさせていただき、その後公私にわたり、お世話になりました。またその関係もあり、武蔵野市の社会教育活動のお手伝いを30年以上続けさせていただいています。

その後も様々な人と出会い、その方々に助けられ今の私があります。第六中学校に異動してきて生徒はもちろん、保護者や地域の方々と出会えたのも一つの“縁”ではないかと考えています。

この出会いを大切にしながら、第六中学校が、もっともっと素敵な学校になるように頑張っていきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。